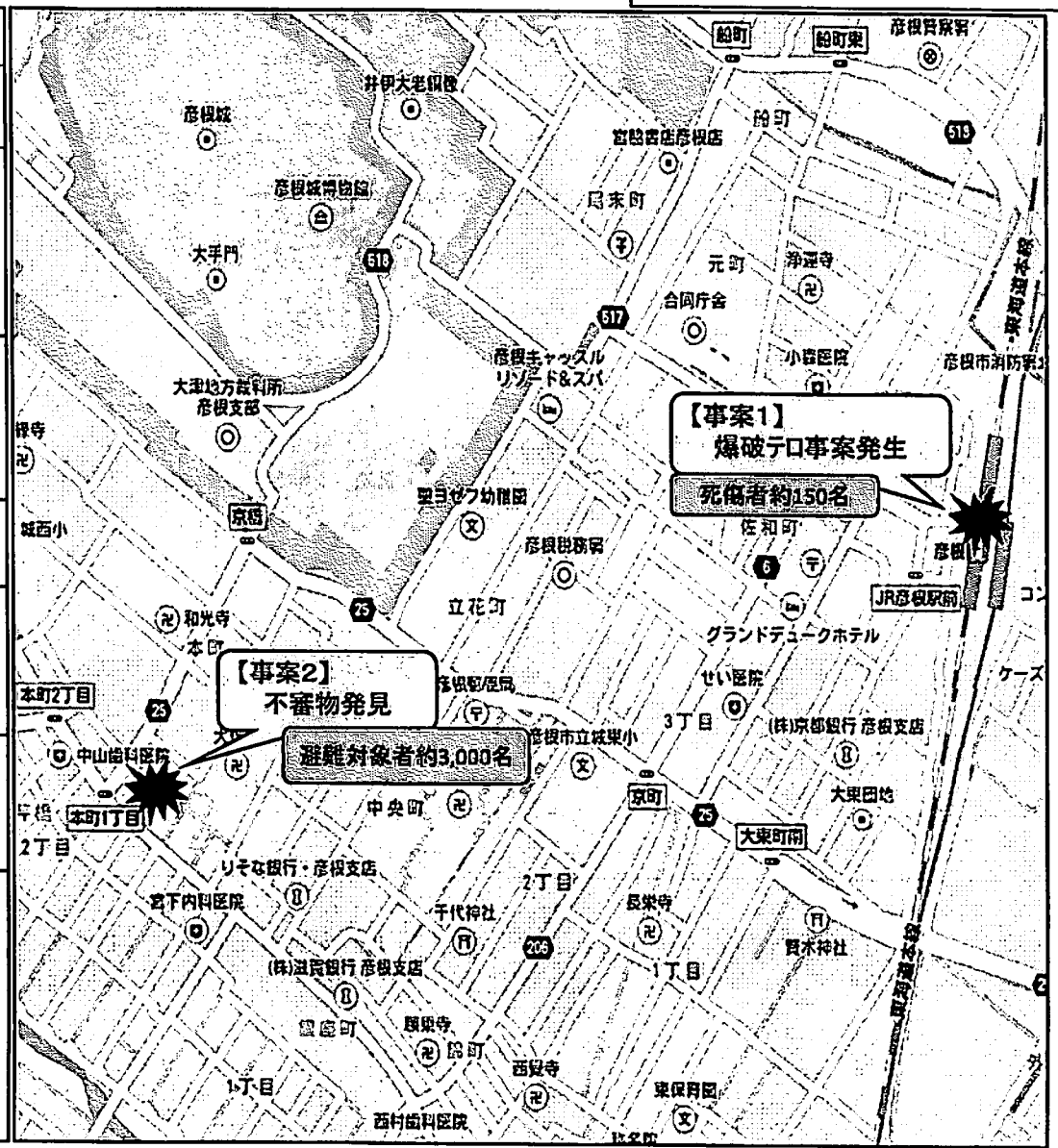


# 平成26年度滋賀県国民保護共同図上訓練実施概要(案)

総務・企業常任委員会 資料  
平成26年(2014年)12月19日(金)  
防災危機管理局

日時	平成27年1月29日(木) 13:00~17:00
場所	滋賀県庁新館 7階大会議室 彦根市役所中央町仮庁舎 3階危機管理室・4階会議室
目的	国民保護法に基づき国、県、市および関係機関が一体となった共同図上訓練を実施することにより、緊急対処事態におけるそれぞれの機能確認と各関係機関相互の連携強化を図るとともに、国民保護計画および国民保護対応マニュアルの実効性を高める。
主要訓練項目	(1) 事態認定前の初動対処訓練 (2) 緊急対処事態対策本部の設置運営訓練 (3) 避難誘導訓練(広報、避難誘導方法の検討) (4) 救援訓練(避難所設置の調整、安否情報確認)
参加機関	政府機関 内閣官房、消防庁、陸上自衛隊第三戦車大隊
	地方公共団体 滋賀県、滋賀県警察本部、彦根市、彦根市消防本部、大津市消防局 県内全市町および全消防局・本部(※) ※は、情報伝達訓練に参加
	指定公共機関 西日本旅客鉄道株式会社京都支社 日本赤十字社滋賀県支部 大津赤十字病院
訓練想定	JR彦根駅において、ホームに進入してきた新快速電車が仕掛けられた爆弾が爆発し、多数の死傷者が発生する。 テロ組織から犯行声明および犯行予告が出され、周辺施設の警戒に当たっていた警察官が、観光イベント開催中の商業施設内において爆発物の疑いのある不審物を発見し、その処理に伴い観光客や近隣住民、要配慮者関連施設滞在者などの避難が必要となる。



<経過>

- わが国の周辺において軍事的緊張が高まる中、彦根市内において1月30日(訓練翌日)に国際サミットが開催されることが公表された。
- 同国際サミット出席者には政府要人が含まれており、サミット前日の1月29日(訓練当日)には同政府要人による滋賀県内の視察が計画され、彦根市内の商業施設に立ち寄る予定となっていた。
- このような中、滋賀県内において、1月28日(訓練前日)に不審車両が警察官の検問に対し強行突破を図り、警察官と銃撃戦の末犯人が死亡する事件が発生。遺留車両内等からテロに使用される可能性のある爆弾等が発見されたことや、翌日には彦根市内でサミットが開催される予定であること等を考慮し、滋賀県緊急事態連絡本部の設置が決定され、県下各市町も同様の決定をした。

時間経過	事態の進展	国	滋賀県	彦根市
訓練開始前	○滋賀県内でテロ発生の危険性が高まったことによる警戒態勢強化	○消防庁情報連絡室設置	○緊急事態連絡本部設置	○緊急事態連絡本部設置
13:00 13:30	(訓練開始) 【第1事案】 ○JR彦根駅で爆破テロ事案発生 ○犯行声明発表	○官邸対策室、消防庁緊急事態連絡室設置 ○緊急参集チーム参集	○県広域消防相互応援調整 ○DMATの派遣要請	○県広域消防相互応援の要請
14:00			○緊急事態連絡本部本部会議開催(想定) ○自衛隊への災害派遣要請 ○国への緊急消防援助隊要請	○緊急事態連絡本部本部会議開催(想定) ○県への自衛隊災害派遣要請要求 ○県への緊急消防援助隊要請
14:30	【第2事案】 ○商業施設で不審物発見		○避難経路等見積り ○救援の調整	○避難実施要領の作成 ○救援の調整
15:15		○国家安全保障会議 ○臨時閣議		
15:25	<b>事態認定</b>			
15:35	○緊急情報ネットワークシステム(Em-Net)による国の通知	○緊急対処事態対策本部設置 ○県への警報の発令、避難措置・救援の指示等	○緊急対処事態対策本部設置 ○市への警報の発令、避難指示の通知、救援の調整等	○緊急対処事態対策本部設置 ○住民への警報の伝達、避難住民の誘導、救援の実施等
16:00			○第1回緊急対処事態対策本部会議	○第1回緊急対処事態対策本部会議
17:00	(訓練終了)			